



挑戦する企業 31

職人の高い技術で製作した
「曲げ木 木製二輪玩具」の開発

ワークス・ギルド・ジャパン(株)

プロダクトデザイナー 大野 英憲 氏

「木のものづくり」で新事業展開を

弊社の早川社長から新事業展開として秋田県産材を活かした「木のものづくり」を行いたいという相談を受けた。最初は秋田杉を使った家具を製作しようと考え、県庁の秋田スギ振興課から「秋田県家具工業会」や「(有)高和製作所(秋田市)」を紹介して頂き、秋田県の家具製作の現状を知ることができた。

その後、模索する中、横浜の自転車店の社長から、ドイツにはペダルが無い「キックバイク」という子供の自転車トレーニング用の乗り物があることを知った。両足を使い、地面を蹴った余力で進むことで「バランス感覚」が養えるようになり、自然に自転車に乗れる文化があることを教わった。

当時、国内では類似する製品を作っている会社も無かったため、秋田県の伝統工芸である「曲げ木」の技術を生かした「木製二輪玩具」を作ってみようと思ったのがきっかけだった。

職人の高い技術で製作した「木製二輪玩具」

木製二輪玩具のデザインは弊社が担当し、当初から相談にのってくれた椅子張一級技能士が描い、国宝級家具の修理も手掛ける(有)高和製作所から、クオリティーの高い成型合板の製造を行う北日本ボード工業株(井川町)を紹介して頂き、製造を依頼。サドル・グリップの部分は(有)高和製作所へ依頼した。

作業の全てを熟練の職人がほとんど手作業で行っており、児童向け玩具と思えないほど品質が高く、秋田の職人の高い技術が集約した玩具ともいえる。試作を繰り返し、完成まで1年半の歳月を費やした。

昨年8月から発売を開始し、同年9月に知人を通じドイツで行われた「ユーロバイクショー」に出展。立体的な曲線が「美しい」と評価され、キックバイクの本場欧州から高い評価を受け、海外数社から引き合いがあった。また、今年の10月末に環境・

エネルギーをテーマにした日本最大級の展示会「メッセナゴヤ2010」に出演し、横浜、名古屋、静岡などの自転車店と新たに契約することができた。さらに県のアンテナショップの支援事業を活かして大阪の販売店とも契約。現在ではさらに新潟、愛媛にも販売しており、県外の販売店舗が増えつつある。

木製二輪玩具を日本の文化として根付かせたい

子供には、補助輪自転車が一般的だが、実際は自転車を乗るのに必要なバランス感覚は養えず、子供の筋力ではブレーキを握れない。親も教育的感覚で乗り方を教えようとするため、子供の自転車嫌いが現在増加傾向にある。この製品は、木製品のため重さも4.2キロと子供でも扱いやすく、ハンドル部分も角度を浅くすることで、転倒の危険性も低い。遊びながら知らずに自転車に乗るための基礎を学ぶことができる。今まで日本に無かつたこの木製二輪玩具の文化を根付かせ、秋田県の伝統工芸品として育てていきたい。

また、日本人が昨今忘れかけている木の良さを再認識してもらうため、木に触れ、木を感じてもらいながら学ぶことの出来る「木育」をテーマに県内の有志企業や団体の力を結集し「秋田木育プロジェクト」を立ち上げた。今後はこの活動を広げ、各地のイベントに積極的に出演し、「秋田生まれの木のおもちゃ」を県外・海外へ発信していきたい。

Profile

- 平成21年4月創業
- 業務内容 木製工芸品、玩具、家具の製造及び販売
- 秋田市将軍野南二丁目3-29
- TEL 880-5145 FAX 845-2581
- URL <http://www.wgj.co.jp>
- E-mail bentwood@wgj.co.jp